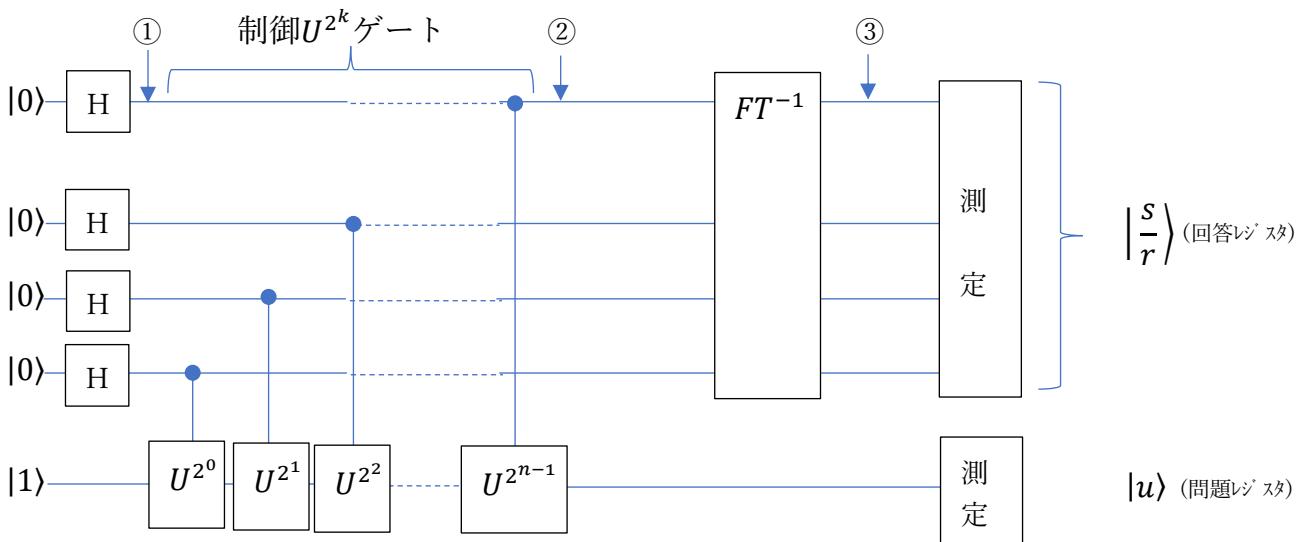


## 位数計算と素因数分解

$$\frac{1}{\sqrt{2^n}} \sum_{k=0}^{2^n-1} |k\rangle \otimes U^k |1\rangle = \frac{1}{\sqrt{N}} \sum_{k=0}^{N-1} |k\rangle \otimes |x^k \bmod M\rangle$$

$$\text{ただし } U|y\rangle = |xy \bmod M\rangle$$

上式により、制御 $U^{2^k}$ ゲート通過直後の状態（②の状態）は、0から $N-1$ までの $k$ による、  
 $|k\rangle \otimes |x^k \bmod M$ の計算結果を重ね合わせた状態になっていることがわかる。



$M = 15, x = 7$  の場合の位数  $r$  を求める。

$$\frac{1}{\sqrt{2^n}} \sum_{k=0}^{2^n-1} |k\rangle \otimes |x^k \bmod M\rangle$$

$$= \frac{1}{\sqrt{2^4}} \sum_{k=0}^{2^4-1} |k\rangle \otimes |7^k \bmod 15\rangle$$

$$= \frac{1}{4} (|0\rangle \otimes |7^0 \bmod 15\rangle + |1\rangle \otimes |7^1 \bmod 15\rangle + |2\rangle \otimes |7^2 \bmod 15\rangle + \dots + |15\rangle \otimes |7^{15} \bmod 15\rangle)$$

$$= \frac{1}{4} (|0\rangle \otimes |1\rangle + |1\rangle \otimes |7\rangle + |2\rangle \otimes |4\rangle + |3\rangle \otimes |13\rangle + |4\rangle \otimes |1\rangle + |5\rangle \otimes |7\rangle + |6\rangle \otimes |4\rangle) + |7\rangle \otimes |13\rangle + \dots + |15\rangle \otimes |13\rangle$$

上式では問題レジスターは1、7、4、13の値が周期的に繰り返されるが、この周期が位数となり、量子計算上では後に続くフーリエ逆変換によりこの周期を求めている。

ショアのアルゴリズムにより、実際に位数計算と素因数分解を行ってみる。

但し、位数計算の部分では、 $\sum_{k=0}^{2^n-1} |k\rangle \otimes |x^k \bmod M\rangle$ において、 $|x^k \bmod M\rangle$ の周期から位数を求める。

<ショアのアルゴリズム>

- ①  $M$ が偶数なら素因数 2 を出力。
- ②  $M = b^a (a \geq 1, b \geq 1)$  なら素因数  $a$  を出力。
- ③ 1 から  $M-1$  の間で任意に  $x$  を選ぶ。このとき  $x$  と  $M$  の最大公約数が 1 より大きいなら、その最大公約数を出力。
- ④  $x, M (x > M)$  の位数  $r$  を計算する ( $x^r \bmod M = 1$ )。  
もし  $r$  が偶数であり  $x^{\frac{r}{2}} \bmod M \neq -1$  ならば、 $\gcd(x^{\frac{r}{2}} - 1, M)$  と  $\gcd(x^{\frac{r}{2}} + 1, M)$  を計算し、内 1 つが  $M$  の因数ならそれを出力。
- ⑤ ③に戻る。